

# 明治初期の翻訳漢語

——「修辭及華文」による——

高野 繁 男

## 1. はじめに

明治維新は、日本の文化の全般に大変革をもたらした。言語も例外ではなく、驚くほどの短期間に著しい変化が起こった。いわゆる「現代語」の基礎が、この間にできたと考えられる。国語史における近代語の特色と問題点は、いくつかの項目に整理できるが、そうした中のひとつに「語彙の更新」がある。明治期は、音韻や文法はどちらかといえば、前時代を引き継いだ観があるが、洋学の隆盛とともに、新しい語彙が大量に生産された。言語の中で語彙は、最も変わりやすいといわれるが、明治期の新語造りは、結果からみて、欧米諸国の文化を導入する際の訳語によるところが大きいといえよう。そして、その新語の大多数は「漢語」<sup>1)</sup>であることが、著しい特色になっている。その主な理由として、漢語は和語に比べて造語力に富んでいること、当時の啓蒙家たちが漢学に通じていたこと、更に日本より先に開国した中国に、すでに英華辞典<sup>2)</sup>があり、その訳語を借用したり修正したりして用いたことなどがあげられよう。

本稿は、先の報告「明治初期の翻訳漢語—「論理学」(『百科全書』)による—」(『人文学研究所報』No. 11, 神奈川大学人文学研究所, 昭52年)の続編をなすものであるが、当時の翻訳書を資料に、そこに出てくる漢語を検討することによって、現代語における漢語の特色と、それらの語の訳語としての成立の経緯を指摘することを目的としている。

資料として「修辭及華文」(Rhetoric and Belles-Lettres)を用いた。「修辭及華文」は、明治12年(1879)に菊地大麓によって『百科全書』<sup>3)</sup>の一冊として、翻訳刊行されたものである。内容は、表題の示すように、修辭法と文学を説いたもので、断片的であるが、わが国最初の純文学を論じたものである。後に坪内逍遙が『小説神髓』(明19)に引用し、『明治文化全集』(昭3)にも収録されて広く知られている。明治文学との直接の関係

は薄いようであるが、明治における文学論の発達を討究するには無視できない資料といえよう。ただ、本稿は、文学評論の用語を調査することを目的としているのではなく、前述のように「修辞及華文」が訳された明治12年という時期の翻訳漢語の動行を探ろうとするものである。

語の抽出には、原書と訳書を対照し、明らかに英語と対応する漢語を取り出す方法を用いた。得られた語数は、異なり語数で1,296語、延べ語数で2,657語である。これを次の観点と方法で分析した。

### 1) 典拠の有無（訳語のソース）

上記の方法で得た漢語が、過去の文献に用いられたことがあるかどうかを確かめる。これは、訳語が既存の語なのか、それとも新語なのかを識別するためである。典拠の確認には、次の文献を用いた。

a) 『大漢和辞典』（諸橋轍次著，大修館，昭43年） b) 『日本国語大辞典』（日本大辞典刊行会編，小学館，昭51） c) 『五本対照改編節用集』（亀井孝編，勉誠社，昭49） d) 森岡健二編著『近代語の成立—明治期語彙編』（明治書院，昭44） e) 松村明著『洋学資料と近代日本語の研究』（東京堂，昭45） f) 佐藤喜代治著『国語語彙の歴史的研究』（明治書院，昭46） g) 古田東朔論文「幕末・明治初期の訳語」（『国語学』53号）以下、これを一括して「辞典」と呼ぶ。

### 2) 新語造成の方法

新思想の導入，新概念の置き換えには，既存の語を使用するだけでは不可能であった。上記の1)によって得られた「新造語」が，どのような方法によって造られたかを検討し，あわせて新語の語基（造語要素）となった漢字の特色，すなわち漢字の難易度・普及度・音訓の別が，新語造成の際に，どの程度どのように係わったかを検討することによって，新造語の性格を明らかにする。

### 3) 現代語との関係

現存語と廃語の別をみる。その結果から，どのような語が残り，どのような語が捨てられたかを検討し，それによって，この時期の翻訳漢語の特色と現代語の性格を明らかにする。現存語と廃語の認定には，以下の辞典を用いた。<sup>4)</sup>

a) 『岩波国語辞典』第2版（西尾実他編，昭38） b) 『新選国語辞典』改訂新版（佐伯梅友他編，小学館，昭41） c) 『三省堂国語辞典』第2版（全

田一京助他編, 昭49)

なお, 全項目にわたって, 前稿の「論理学」(明11) および未定稿の「経済論」<sup>5)</sup> (明7, とともに本稿の資料と同じ『百科全書』所収) の分析結果を適宜引用し, 傍証の資料とした。

## 2. 典拠の有無

典拠の有無の認定には, まず, 前章の 1) で示した『大漢和辞典』によって, 抽出した 1,296 語すべてに当り, そこに示されている用例のうち, 最も古い文献をもって典拠とした。次に『大漢和辞典』に登録されているも用例の示されていない語, およびそこに登録されていない語について, 更に『日本国語大辞典』, 『節用集』, 森岡健二, 松村明, 佐藤喜代治, 古田東朔の諸氏の著書・論文で当たり, 典拠の有無をつめた。

その結果, <I-A, 辞典にあり典拠の示されている語> <II-A, 辞典にあり典拠の示されていない語> <II-B, 辞典に登録されていない語> の三つが識別された。なお, 洋学書 (英和辞典の類も含む) および明治以後の文献の用例は <II-A> に分類した。

表 I 典拠の有無

			1字	2字	3字	4字	合 計		
							異 語 数	延べ語数	
I 既存語	I-A 辞典にあり 典拠の示さ れている語	I-A <sub>1</sub> 漢 籍	79	825	2	0	906 (69.9%)	1,012 (78.1%)	1,965
		I-A <sub>2</sub> 和 書	0	103 (46)	3 (1)	0	106 (8.2%)		239
II 新造語	II-A 辞典にあり典拠の示 されていない語		0	150 (14)	19	0	169 (13.0%)	284 (21.9%)	294
	II-B 辞典に登録されてい ない語		0	70 (4)	27 (2)	18	115 (8.9%)		159
合 計			79	1,148	51	18	1,296		2,657

註 <I-A<sub>2</sub>> の ( ) は蘭学者の造語

<II-A> <II-B> の ( ) はロブシヤイド『英華字典』と一致する訳語

上記の表 I が得られた。

〈I-A〉は、全数 1,296 語中 1,012 語 (78.1%) ある。その典拠の内訳は〈I-A<sub>1</sub> 漢籍〉906語 (69.9%)、〈I-A<sub>2</sub> 和書〉106 語 (8.2%) で、〈I-A<sub>2</sub>〉の和書の中には、蘭学者の造語と思われるものが47語含まれている。〈II-A〉169 語 (13.0%)、〈II-B〉115 語 (8.9%) となっている。〈I-A〉は、既存語での置き換え、〈II-A〉〈II-B〉は、この調査の範囲内では洋学導入後の新造語ということができよう。ただ、〈II-A〉〈II-B〉の中には、ロブシャイドの『英華字典』と一致する訳語が20語含まれている。これは、正確には日本人の手による新造語とはいえないであろう。これについては、後に「新語造成の方法」の項で「借用」として述べる。

さて、表 I の結果は、他の作品と比べると、どんな特色をもっているのであろうか。前章で紹介した「論理学」「経済論」と比較してみよう。

表 II 典拠の有無の比較

	抽出語	I 既存語			II 新造語	
		I-A 辞典にあり典拠の 示されている語	II-A 辞典にあり典拠の 示されていない語	II-B 辞典に登録されて いない語		
修辞及華文 (明12)	1,296	1,012 (78.1%)	169 (13.0%)	115 (8.9%)		
			284 (21.9%)			
論理学 (明11)	571	396 (69.4%)	91 (15.9%)	84 (14.7%)		
			175 (30.6%)			
経済論 (明7)	989	683 (69.1%)	129 (13.0%)	177 (17.9%)		
			306 (30.9%)			

「修辞及華文」は、既存語が、最も多く使われている。その分だけ、新造語が少ないことになるが、後に述べるように〈II-B〉は、現代すべて廃語になっている語である。「経済論」については、時代が下るとということがいくらか係わっているように思われる。

次に、「修辞及華文」の中から、頻度数の高い語を用例としてあげてみよう。

〈I-A<sub>1</sub>-a〉 典拠の示されている語：漢籍（現存語）

意味 meaning・sense・idea 「朱子全書」

快活ナル vivid 「北史」

学術 science 「後漢書」

簡易ナル easy・simple 「荀子」

戯曲 drama 「輟耕録」

結果 effect・end・product 「仏本行論」

結構 structure 「後漢書」

言語 word・language 「易経」

滑稽ナル ludicrous 「史記」

自然 natural 「老子」

修辞 rhetoric 「日知録」

小説 fiction・novel・romance 「漢書」

人類 man・human 「莊子」

世界 world 「白居易」

題目 subject・title 「鄭玄」

読者 reader 「朱熹」

人間 human・man 「李白」

比喩 comparison 「漢書」

文章 composition・style・sentence 「史記」

文体 style composition 「晋書」

命令 direction・command 「楚辞」

歴史 history 「皮錫瑞」

(15回以上, 以下「語彙一覧表」〈I-A<sub>1</sub>-a〉参照)

〈I-A<sub>1</sub>-b〉 典拠の示されている語：漢籍（廃語）

華文 polite-literature・literary-art 「漢書」

戯諢 humour 「後漢書」

期望 hope 「劉浩」

作手 author・writer 「池北偶談」

説服 persuasion 「礼記」

対言 address 「明律」

富麗 beauty 「論語」

了得ス knowledge・grasp・understand「朱子全書」

(5回以上, 以下「語彙一覧表」〈I-A<sub>1</sub>-b〉参照)

〈I-A<sub>1</sub>-a〉の現存語では, 当然のことながら, 文学論の用語が目立つ。このうち「小説」「世界」「題目」の3語は『英華字典』でも同じ訳を当てている。しかし, 「小説」「世界」は, 漢籍で用いている意味とは異なる。前者は〈稗史〉から出た語, 後者は仏教語である。この他「人間」についても同じことがいえよう。もとは〈世の中, 世間〉を意味した。

〈I-A<sub>1</sub>-b〉は廢語, 「華文」は本稿の資料のタイトルにもなっている語で, 現代の〈純文学〉にあたる。「期望」は, 現代は〈希望〉と書く。「作手」は, 今の〈作者〉で『英華字典』では author・writer とともに〈初作者〉の訳がみえる。「対言」は, 現代の〈応答〉に当たる。

〈I-A<sub>2</sub>-a〉典拠の示されている語: 和書 (現存語)

作用 act・behavior「節用集」

普通ノ general popular「江談抄」

自己 self・personal・ourselves「正法眼蔵」

實際ノ practical「節用集」

全体ノ entire・whole「同上」

論判 dispute「神道集」(以上, 国書)

感覺 feeling・sense「万法精理」

関係 connection「頼三陽・書簡」

説明 statement・exposition「同上」

地球 globe・earth「新法曆書」

目的 object・end・purpose「万法精理」

論題 subject「同上」(以上, 蘭学書)

(10回以上, 以下「語彙一覧表」〈I-A<sub>2</sub>-a〉参照)

〈I-A<sub>2</sub>-b〉典拠の示されている語: 和書 (廢語)

記文 description「続日本紀」(国書)

拡充ス extend「三兵答古知幾」

湊合 combination「万法精理」(以上, 蘭学書)

(2回以上, 以下「語彙一覧表」〈I-A<sub>2</sub>-b〉参照)

現存語である〈I-A<sub>2</sub>-a〉のうち, 国書の「自己」と「實際」は, 仏教からの語である。「自己」は, 『日葡辞書』(1606)でも〈ミズカラ・ヲノレ〉

と訳しており、現代語の〈自分〉をいうものと思われる。「實際」は、仏教では〈涅槃の実証〉(『大智度論』)の意であるというが、『文明本節用集』(15世紀)では、現代と同じ意味で用いられている。「論判」は、現代の英和辞典では〈議論・論争〉などと訳している。蘭学書の「組織」は〈糸を織る〉意味では漢籍「呂覽」にみえる。「感覺」「目的」は、現代語としてもよく用いられるものであるが、漢籍、『英華字典』などの中国の文献には見当たらないようである。

廃語〈I-A<sub>2</sub>-b〉の「記文」は、現代の〈記述〉で、『続日本紀』では〈記述した文章〉の意で使われている。蘭学書を典拠とする「湊合」は、現代の〈結合〉に当たる。

〈II-A-a〉典拠の示されていない語 (現存語)

解明ス	explain・survey	社 会	association・society
確實ナル	confirm	通常ノ	common・plain
記 者	writer	美 術	art
行 為	conduct	学術上ノ	scientific
志 向	knowledge	地理学	geography

(現存語, 3回以上, 以下「語彙一覧表」〈II-A-a〉参照)

〈II-A-b〉典拠の示されていない語 (廃語)

換 語	metonymy	全局ノ	all・entire
原 基	basis	注 念	perception
考 思	thought・idea	演説家	speaker
写出ス	express	格物学	physics
主 点	point		

(3回以上, 以下「語彙一覧表」〈II-A-b〉参照)

〈II-A, 辞典にあり典拠の示されていない語〉は、現存語・廃語を合わせて169語(13%)あるが、これらの語は、洋学導入後にわが国で造られ、その後辞典に登録される資格を得た語ということになるであろう。このうち、54語が廃語になっている。

現存語〈II-A-a〉の「解明」「行為」「志向」は、『英華字典』にもみえる(ただし「志向」はobjectの訳語)。また、「社会」は〈会合〉の意味で「近思録」にみえる。現代の意味と異なるので、この項で扱った。3字漢語は、いずれも派生語で、「学術」は「後漢書」に、「地理」は「易経」にみ

える。

廃語〈II-A-b〉は、現代では、それぞれ「換語」→換喩、「原基」→基準、「考思」→思考（文字の転倒）、「写出」→表現、「主点」→要点、「全局」→全体、「注念」→知覚、「演説家」→講演者、「格物学」→物理学に改められている。

〈II-B-b〉辞典に登録されていない語（廃語）

惟質	temper→気性	快樂戯	comedy→喜劇
淹留ス	wait→とどまる	帰正語	paradox→逆説
驚畏	fear→恐れ	虚形物	abstraction→抽象的
玄幽	faintness→かすか	行旅家	traveller→旅行者
象喩	metaphor→隠喩	公論者	orator→講演者
庶衆	people→人々	詞訟師	pleader→弁護人
洩露	revelation→暴露	悲哀戯	tragedy→悲劇
相類ノ	analogous→相似	感情楽感	joy→喜び
的正	correctness→正しい	輕慢驕傲ス	disparage→輕ん じる
偏傾	bias→傾き	智徳粹秀ナル	intellectual→聡 明な
誘迪	direction→指導		
輿象	citizen→人民		
和整	harmony→和合		

（以下「語彙一覧表」〈II-B-b〉参照 →現代の訳語）

主な用例をあげた。これまでの語は、いずれも〈辞典に登録されている語〉であったが、ここにあげた〈II-B-b〉の語は〈辞典に登録されていない語〉でる。表Iで示したように〈II-B〉は、2字漢語70語、3字漢語27語、4字漢語18語の合計115語（8.9%）ある。これらの語は、明治の啓蒙期の一時期、または本資料の訳者・菊地大麓の訳語であろう。いずれの語も、辞典に登録されることもなく廃語になったものと思われる。

このうち、「洩露」「相類」「公論者」「悲哀戯」は、『英華字典』でも、同一の訳語を当てている。また「驚畏」には〈驚・畏〉「行旅家」には〈行旅・行者〉の訳が、『英華字典』にみえ、訳語を選ぶに当たって、何らかの係わりがあるのではないかと思われる。その他の語についても、今日もなお漢語が当てられず、和語を用いているのが目立つ。訳語成立の経緯がみられて興味ぶかい。4字漢語は、ここにあげた以外の語も含め、すべて合

成語で、2語に分解すれば、それぞれの語は、大部分が典拠をもっている。しかし、抽出した4字漢語の全数が、現在廃語になっていることは、日本人の用いる漢語の基本が2字漢語であることを、よくあらわしている。

### 3. 新語造成の方法

翻訳という作業は、広い意味では、すべて置き換えということになる。用語の上からは、おおまかにいって、既存の語で置き換えるか、新しい語を造成して置き換えるかの二つになる。ところで、明治推新のような新しい文化の急激な輸入には、とうてい既存語だけではまかないきれず、結果的に多くの新語を造ることになった。前節の表Iでみたように、本稿では抽出した1,296語のうち、284語(21.9%)が新造語である。本節では、これらの新語がどのようにして造られたのか、またどんな性格をもっているのかを検討してみたい。

まず、新語造成の方法には、A) 借用 B) 造語の二つがみられる。借用は、具体的には『英華字典』の訳語を借りてくることであるが、これは既にある語を当てているという意味では、むしろ既存語への置き換えとみなすことができるであろう。しかし、既存語として扱ったものとは方法が異なるし、また『英華字典』の訳語と一致するからといって、当時のわが国の翻訳者が、そこからすべて借用してきたとは限らず、たまたま訳語が一致したとも考えられるであろう。その認定は、今は不可能であることもあり、ここで扱うことにした。なお、造語は、純粹にわが国の啓蒙家たちによって造り出されたと思われる訳語である。

#### A) 借用

ロブリヤイドの『英華字典』と一致する語は、表Iで示したように、新造語と認定したものの中には〈II-A, 辞典にあり典拠の示されていない語〉の2字漢語に14語、〈II-B, 辞典に登録されていない語〉の2字漢語に4語、3字漢語に2語の合計20語ある。

##### 〈II-A-a〉典拠の示されていない語 (現存語)

解明ス	explain・survey	激動	impulse
夾雜ナル	mixed	行為	conduct
教師	teacher	数学	mathematics
共存	coexistence	想起ス	recollect

特権 prerogative	半島 peninsula
〈II-A-b〉 典拠の示されていない語 (廃語)	
高聳 loftiness	相同ナル same
重学 mechanic	分枝 branch
〈II-B-b〉 辞典に登録されていない語 (廃語)	
聖詩 psalm	電雷 thunder
洩露 revelation	公論者 orator
相類ノ analogous	悲哀戯 tragedy

20語中10語が廃語になっている。これを先の資料「論理学」「経済論」と比較すると、次のようになる。

表 III 『英華字典』との一致率 (新造語)

	抽出語	新造語	英華字典と一致する語	借用語の率
修辞及華文 (明12)	1,296	284 (21.9%)	20	7.0(%)
論理学 (明11)	571	175 (30.6%)	10	5.7
経済論 (明7)	989	306 (30.9%)	35	11.4

また、参考までに抽出語全数の『英華字典』との一致率をみると、次のようになっている。なお、資料の補充として、森岡健二教授の中村正直訳『自由之理』(明5)の調査結果があるので並記する<sup>6)</sup>。

表 IV 『英華字典』との一致率 (全数)

	抽出語	英華字典と一致する語	一致率
修辞及華文 (明12)	1,296	225	17.4(%)
論理学 (明11)	571	98	17.2
経済論 (明7)	989	236	23.9
自由之理 (明5)	915	306	33.4

二つの表に共通していえることは、時代が下るにしたがって次第に『英華字典』離れしてゆくことがわかる。近代語成立の、ひとつの経緯を示す

ものといえよう。

## B) 造語

ここでいう造語とは、先に述べたように、洋学導入後、日本人の手によって造成されたと思われる語をさす。したがって、対象となる語は〈II-A〉〈II-B〉の284語から、今みた『英華字典』と一致する借用語20語を除いた264語となる。これには、二つの方法がみられる。ひとつは『英華字典』の訳語を修正したと思われるもの。もうひとつはわが国の訳者によって造られたと思われるものである。

### a) 中国語訳の修正

『英華字典』の訳語を修正したと思われる語には、次のような用例と方法がみられる。前が『英華字典』の訳語

#### 1) 文字の入れ替えと思われる語

簡短→簡單 brevity

声音→語音 sound

書者→記者 writer

地理志→地理学 geography

博物之理→博物学 natural-philosophy 〈II-A-a〉(現存語)

仁恵→仁恤 tenderness 〈II-A-b〉(廃語)

改化→革化 change

句段→句節 clause 〈II-B-b〉(廃語)

#### 2) 2字(語)の組み合わせ

時・季→時季 season

名・辞→名辞 term

話・説法→話法 speech

預言・先知者→預言者 prophet

性理・性学→性理学 physiology 〈II-A-a〉(現存語)

種・属→種属 kind

奨励・勸励→奨励ス encourage 〈II-A-b〉(廃語)

驚・畏→驚畏 fear

保・扶助→保助ス conducive

往古・古人→往古人 ancient 〈II-B-b〉(廃語)

#### 3) 文字の倒置

行旅・行者→旅行者 traveller  
 理論之学→論理学 logic <II-A-a> (現存語)  
 欺騙→騙欺 delusion <II-A-b> (廃語)

#### 4) 文字 (語) の補足

天文→天文学 astronomy  
 極→極度 utmost <II-A-a> (現存語)  
 市→市府 town  
 格物→格物学 physics  
 修身→修身学 moral  
 立方→立方形 cube <II-A-b> (廃語)  
 教道→教道論 doctrine  
 極小→極小数ノ infinitesimal  
 極微→極微分子 atom  
 枝葉→枝葉細目 branches  
 定時→定時発兌 periodical  
 歛欣→愉懌歛欣ナル pleasing <II-B-b> (廃語)

これらの語のすべてが『英華字典』の訳語を指摘した、それぞれの方法で修正したかどうかは、もちろん確認できない。しかし、『英華字典』が、なんらかの役割を果しているのではないかと思われる。全体的にみて、中国語訳をそのまま単純に受け入れるのではなく、日本人に理解しやすいように置き換えていることがわかる。2字漢語は、いずれも同義語(字)の入れ替え、組み合わせ、補足であり、倒置は、日本語の構造に語順を置き換えるという意識が働いたものであろう。3字漢語は、派生語を造成するための語基の補足が大部分で、4字漢語は、すべて2字漢語の組み合わせによる合成語である。

#### 5) 和語を語基とした造語

次に、わが国の訳者によって、新しく造られたと思われる語について考えてみたい。先にあげた264語から、今みた修正語34語を除くと230語になる。これらの語は、本稿の調査では、純粹に日本人の手によって造られた語ということになる。そして、このうち94語は、現代も使われている。

日本人は、古くから漢語を造る場合は、まず和語で考え、それを音読して漢語に置きかえる方法をとってきた。たとえば、「返事」は〈返<sup>かえ</sup>り事<sup>ごと</sup>〉で

あり、「心配」は〈<sup>こころ</sup>心を<sup>くば</sup>配る〉であった。初め和語（訓読）仕立てであったものが、後に音読されて漢語になったという。いわゆる和製漢語である。日本人が物を考え、理解する基本は、なんととっても和語であろう。このことは、近代の造語の際にも作用したと思われる。

したがって、この方法の語基（造語要素）となり得る資格の文字は、音訓両様の漢字（音訓の別）で、その関係が密接であること、しかも一般に親しまれている漢字同志の組み合わせ（漢字の普及度）が、基本ということになる。

新語と思われる〈II-A〉〈II-B〉を対象に、a) 音訓の別、b) 漢字の普及度という、語と文字の関係から、新造語の性格を考えてみたい。なお、統計処理の関係上〈II-A〉〈II-B〉の中から、3字漢語、4字漢語を除いた。したがって、220語が対象となっている。また、漢字の音訓の別、漢字の普及度の判定には、いずれも、森岡健二教授の「漢字の層別」<sup>7)</sup>を用いた。

a) 漢字の音訓の別

文字の音訓の別によって、次の三つが識別される。一つは「思考」のように語を構成するそれぞれの文字が、ともに音訓両用の読みをもつ漢語で、これを1類とした。二つめは「視論」のように、一方が音訓両用の読みをもつ漢字（視）、一方が音読のみの漢字（論）によって構成されている漢語で、これを2類とした。三つめは「符号」のように2字とも音読のみ

表 V 新造語における漢字の音訓の別（2字漢語）

		1 類	2 類	3 類	合 計
II-A 辞典にあり典拠 の示されていない語	II-A-a 現存語	67 (11) (49.3%)	29 (3) (39.7%)	6 (3) (54.5%)	102 (17) (46.4%)
	II-A-b 廃 語	29 (4) (21.3%)	17 (1) (23.3%)	2 (18.2%)	48 (5) (21.8%)
II-B 辞典に登録され ていない語	II-B-b 廃 語	40 (2) (29.4%)	27 (2) (37%)	3 (27.3%)	70 (4) (31.8%)
合 計		136 (17) (61.8%)	73 (6) (33.2%)	11 (3) (5.0%)	220 (26)

註 ( ) 『英華字典』からの借用語・修正語

の漢字で構成されている漢語で、これを3類とした。先にも述べたように、日本人の思考の基本は和語で、音訓両用の漢字で構成されている漢語の方がわかりやすい。また、音訓両用の読みをもっている漢字の方が一般に親しまれているであろう。したがって、新語造成の際にも訓読（和語）をもつ漢字を語基として造語するのが基本であったと思われる。

表 V の結果が得られた。1類（2字とも音訓両用）61.8%，2類（音訓両用と音専用の混成）33.2%，3類（2字とも音専用）5% と、極めて明確な傾向を示している。〈訓〉が新語造成に際して有力な条件であったことがわかる。主な語を示す。（2類の・印は、音専用の漢字）

〈II-A-a〉 典拠の示されていない語（現存語）

(1類)

活 力	vitality・activity	対 比	contrast
科 学	science	物 質	substance
概 念	notion	要 点	importance
志 向	knowledge	恋 愛	affection

(2類)

惨 状	spectacle	定 義	definition
主 題	matter	内 部	interior
純 然	purity	美 術	art

(3類)

簡 単	brevity	地 層	stratum
曹 達	soda	特 権	prerogative

〈II-A-b〉 典拠の示されていない語（廃語）

(1類)

顕 象	phenomenon	撰取ス	choose
叙 記	description	點 示	suggestion

(2類)

教 規	subject	多 衆	multitude
壯旺ナル	generous	憐 恤	sorrow

(3類)

訓 状	rule	仁 恤	tenderness
-----	------	-----	------------

〈II-B-b〉 辞典に登録されていない語（廃語）

(1類)

巧 異 skill	調 看 knowledge
降 沈 composure	豊 充 rich・fertility
壯 励 boldness	発 象 phenomenon

(2類)

完明ナル complete	誤 了 mistake
剛 壯 courage	方般ノ universal

(3類)

規 条 regulation	論 術 oration
庶 衆 people	

1類をみると、むしろ現存語の中に難解な語が含まれている。「科学」「概念」「志向」などは、初めて出会ると、共に〈訓〉をもっているにもかかわらず理解しがたいであろう。これらの語は、いずれも学術用語として用いられることが多いが、術語は難解であっても残るようである。2類は、語構成からみると〈訓〉の部分が〈音〉の部分の説明するもの→主題・定義・内部・教規、似た意味の漢字を並べたもの→壯旺・多衆・憐恤・剛壯、接尾語を付したもの→純然などがみられる。〈訓〉に依存する語が多い。3類も、上の語が下の語を修飾するものが多いが、〈II-A-a〉の「曹達: soda」は、英語の音をそのまま当てている。

b) 漢字の普及度

表 VI をみると、漢字の普及度が、新語の造成、および現存語・廃語の別に大きく関わっていることがわかる。認定には、前項と同じく、森岡健二教授の漢字表を用いたが、おおむね1類・2類(1群)は学校教育レベルの漢字、3類(2群)は一般社会人向けの漢字、4類・5類(3群)はハンディタイプの国語辞典に登録されている漢字、その他6類から8類(4群)まで分類されているが、これらは上記以上の難度をもつ普及度の低い漢字である。資料には、表外漢字も含まれているが、これを一括してひとまとめとした。

1群37.7%、2群45.9%、3群と4群は語数が少ないのでまとめると16.4%となる。ハンディタイプの国語辞典の漢字を多く出ることがない。しかも、普及度の低い漢字を使用した語は、大部分が廃語になっている。前項の〈漢字の音訓の別〉より、一層はっきりした傾向が示されている。

表 VI 新造語における漢字の普及度 (2字漢語)

		1類・2類 (1群)	3類を含む (2群)	4類・5類 を含む (3群)	6類~8類・ 表外を含む (4群)	合計
II-A 辞典にあり典 拠の示されて いない語	II-A-a 現存語	44 (11) (53.0%)	50 (5) (49.5%)	5 (27.8%)	3 (1) (15.8%)	102 (17) (46.4%)
	II-A-b 廃語	22 (3) (26.5%)	13 (1) (12.9%)	6 (33.3%)	7 (1) (36.8%)	48 (5) (21.8%)
II-B 辞典に登録さ れていない語	II-B-b 廃語	17 (1) (20.5%)	38 (2) (37.6%)	7 (38.9%)	9 (1) (47.4%)	70 (4) (31.8%)
合計		83 (15) (37.7%)	101 (8) (45.9%)	18 (8.2%)	19 (3) (8.6%)	220 (26)

註 ( ) 『英華字典』からの借用語・修正語

用例を示す。数字は類を示す

<II-A-a> 典拠の示されていない語 (現存語)

(1群)

改進 progress (2・1)	重要ナル grave (1・1)
公認ス recognize (1・2)	人種 family (1・1)
共通ノ same・common (2・1)	表面 surface (1・1)
参照 reference (1・2)	判然タル visible (1・1)

(2群)

偉大ナル great (3・1)	序言 prologue (3・1)
基準 order (3・3)	適宜ニ moderately (3・3)
僅少 little (3・1)	提示ス bring (3・2)
高揚 soar (1・3)	浮標 buoy (3・3)
周到ナル accomplished (3・3)	

(3群)

抗弁 reaction (4・3)	溶解ス dissolve (5・2)
反抗ス hostile (1・4)	莊重ナル grand (4・1)

(4群)

- 些少ノ slight (6・1) 証憑 proof・demonstration  
 夾雜ナル mixed (外・3) (2・外)  
 <II-A-b> 典拠の示されていない語 (廃語)
- (1群)  
 解得ス comprehend master 至多ナル considerable (2・2)  
 (2・1) 相同ナル same (1・1)  
 供用ス adapt (2・1) 対者 fellow (1・1)
- (2群)  
 顕象 phenomenon (3・3) 権分 claim (3・1)  
 専注 solicitude (3・2) 補贐ス serve (2・3)  
 賜恵 boon (3・3)
- (3群)  
 奨勸ス encourage (4・3) 憐恤 sorrow (3・5)  
 逐次ノ gradual (4・1) 仁恤 tenderness (3・5)  
 敵抗 hostility (2・4)
- (4群)  
 高聳 loftiness (1・7) 粗魯ノ vulgar (4・6)  
 彙別 classification (6・1) 騙欺 delusion (6・3)  
 健旺ナル healthy (2・6) 汎広 largeness (6・2)  
 <II-B-b> 辞典に登録されていない語 (廃語)
- (1群)  
 至広ナル boundless (2・2) 類属 class (1・2)  
 洗新 freshness (2・1) 論術 oration (1・2)  
 品調 quality (1・1)
- (2群)  
 外周 outline (1・3) 推達 attainment (3・1)  
 与出ス suggestive (3・2) 壯弘ノ wide (3・3)  
 歴験ス experience (3・3)
- (3群)  
 玄幽 faintness (3・5) 分割ス decompose (1・5)  
 叙文 narration (4・1) 愉適ナル mirthful (4・3)  
 崇福 welfare (5・2) 輿衆 citizen (4・3)

(4 群)

洩露 revelation (6・3)

呼 嘯 ejaculation (2・外)

漉布 canvas (7・3)

誘 迪 direction (3・外)

淹留ス wait (外・2)

なお、難解な漢字の語、および新語には、次のように英語のルビーや註を施して使っている。

リアリテツ フレツシネス エレガンス サブライム メタフォル フドレツス エキスパンション プロポーシヨン  
 高揚・洗新・雍容・跌宕・象喩・対言・豁達・論旨  
 アブストラクシヨン パラドツクス ポラリチー  
 虚形物・奇怪洩・指極性質  
 ナルレイシヨン デスクリプシヨン  
 叙文 万事ノ歴由ヲ記スル文・記文 万物ノ形状性質ヲ直訳スルノ文・  
 デクイニシヨン アブストラクシヨン  
 定義 言語ヲ明定スルコト・拔萃 物ノ性質ヲ其物ヨリ分離シテ考ルコト  
 パラレル  
 ・比耦 至要ノ点ニ於テ同一ナル者

このように、難語を処理するための工夫と苦心がはらわれている。

また、先の〈漢字の音訓の別〉とも相関関係があり、現存語では、1類→1群・2群 90.5%，2類 71.2%，3類 72.7% となっている。更に廃語では、1類→3群・4群 12.8%，2類 43.2%，3類 33.3% で、1類と2類が対照をなす。なお、3類の3群・4群の残る率が、予想したより高いようであるが、これは3類に使われる漢字が、いずれも現代の当用漢字にあるような普及度の高いものであることがあげられる。

#### 4. 現代語との関係

これまで、現存語・廃語ということばで、たびたび触れてきたが、最後にどのような語が現代語として残り、どのような語が廃語になったかを整理しておきたい。

量的な結果として、表 VII が得られた。全体としては、1,296 語中 954 語 (73.6%) が残り、342 語 (26.4%) が廃語になっている。これを「論理学」および「経済論」と比較してみると、次の表 VIII のようになる。

本稿の資料「修辞及華文」は、「論理学」に比べ訳された年が1年しか違わないのに現存率が低い。理由として、訳者の語彙の内容、抽出語の量など、必ずしも同じ条件でないことも考慮しなければならないが、「論理学」は、哲学として比較的早くから導入されていたこと（西周の『致知啓蒙』明治7年と共通の内容をもつ）、専門語が多いことなどがあげられよう。また、「経済論」の廃語の多いのは、時代が他の2作品にくらべて下

表 VII 現存語・廢語の別

	I-A 辞典にあり典拠の示されている語					II-A 辞典あり典拠の示されていない語					II-B 辞典に登録されていない語					合計
	1字	2字	3字	4字	計	1字	2字	3字	4字	計	1字	2字	3字	4字	計	
	a 現存語	79	755	5	0	839 (82.9%)	0	102	13	0	115 (68.0%)	0	0	0	0	
b 廢語	0	173	0	0	173 (17.1%)	0	48	6	0	54 (32.0%)	0	70	27	18	115 (100%)	342 (26.4%)
合計	既存語 1,012 (78.1%)					169 (13.0%)					115 (8.9%)					1,296
	新造語 284 (21.9%)															

表 VIII 現存語・廢語の比較

	抽出語	現存語	廢語	新造語	新造語の現存率
修辭及華文 (明12)	1,296	954 (73.6%)	342 (26.4%)	284 (21.9%)	115 (40.5%)
論理學 (明11)	571	442 (77.4%)	129 (22.6%)	175 (30.6%)	92 (52.6%)
經濟論 (明7)	989	697 (70.5%)	292 (29.5%)	306 (30.9%)	142 (46%)

るためであろう。このことは、新造語の現存率によっても傍証できよう。

用例として、廃語のうち今まであまり取りあげなかった3字漢語・4字漢語の主なものをあげる。その他については、語彙表にゆずる。

〈II-B-b〉 辞典に登録されていない語 (廃語)

一定法	uniformity	実形的	concrete
奇警体ノ	epigrammatic	悲哀戯	tragedy
口論術	oratory	無形物	abstraction (3字漢説)

いずれも派生語で、しかも接辞を除く部分は、どの語も古い漢籍にみられる。法・体・術・的・物などの接尾語を付することによって、新語を造成している。漢語のもつ造語力の豊かさを示すものであろう。なお、「悲哀戯」は『英華字典』にも見られる。現代はそれぞれ uniformity 一律, epigrammatic 警句的ナ, oratory 雄弁術, concrete 具体的, tragedy 悲劇, abstraction 抽象などと訳されている。

〈II-B-b〉 辞典に登録されていない語 (廃語)

依信崇仰	belief	遜謙恭敬	deference
轟雷擊電	stroke	秩然整齊ナル	orderly (4字漢語)
指極性質	polarity		

4字漢語は、抽出された18語すべてが辞典に登録されていない。いずれも合成語であるが、2字漢語に分解すると「依信・崇仰」は、ともに過去の文献にみあたらないようである。2語とも典拠のあるのは「秩然整齊」だけで、他の3語の〈擊電・指極・遜謙〉は、いずれも典拠をもっていない。belief 尊敬・信用, stroke 一撃, polarity 極性, deference 秩序正しい・整然としたなどが現代の訳であるが、stroke の一撃は、『英華字典』にすでにみえる。また、polarity の極性は、「指極性質」を2字にちぢめたものであろうか。いずれにしても、日本人には4字漢語は馴染まないようである。古くから諺言などの慣用句を除いては、きわめて少ない。

## 5. むすび

第1節では、典拠の有無を、第2節では、新語造成の方法とその性格を、第3節では、現代語との関係を見てきた。

典拠の有無では、「修辞及華文」は比較的既存語を多く使っているように思われる。ことに「論理学」や「経済論」に比べて、和書を典拠として

いる語の多いのが特色といえよう。新造語は、少ない方であるが、必ずしも現存率は高くない。これは、文学用語のできるのが比較的遅く、本資料の訳された明治12年頃は、まだ未成立であったことが関係しているように思われる。文学評論の用語が整理されるのは、坪内逍遙の『小説神髓』(明19)以降であろう。たとえば、本資料の表題にもなっている「華文」literary-art・polite-literatureは、現代では〈純文学〉であり、「換語」metonyは〈換喩〉に、「象喩」metaphorは〈隱喩〉に、「樂詩」lyric-poetryは〈叙情詩〉になっている。廃語の中には、この種のもものが多く含まれている。また、humourの訳には「戲謔」「戲弄」のふたとおりがみられるが、ひとつの原語にいくとおりもの訳があり、訳語が不安定であることがわかる。一方、訳語の方法についても過渡期の苦心のあとがみられ、語基となり得る文字、漢字の普及度から、ひとつの傾向をみることができた。

現代語との関係については、新造語だけでなく、既存語についても比較的現存率が低い。しかし、和書を典拠としている語は現存率が高く、105語中15語(10.3%)しか廃語になっていない。漢籍の17.4%に比べると、はっきりした数字を示している。ただ、頻度数の高い語は和書、漢籍のいずれの典拠にかかわらず、現存率が高い。どの資料も新造語の現存率は、既存語に対し低い。それにしても、新造語の現存率が低いという「修辭及華文」でさえ284語中115語も残っている。

このようにみえてくると、明治12年という時期は、幕末から明治初頭の中国語訳や蘭学の訳語にたよっていた時代に比べて、日本人の手による造語が盛んになっているといえよう。その意味では、明治10年代の初めは、訳語成立のひとつの転換期といってよいであろう。

#### 〈註〉

- 1) 漢語一音読の語・助詞・助動詞・接辞・サ変動詞のついたものも漢語と認めた。
- 2) 当時、英華辞典は数種類のもものがわが国に入っているが、本稿では、ロブシャイドの『英華字典』(W. Lobscheid: English and Chinese Dictionary, 1866年)を用いた。なお、本辞典は、中村敬字校正『英華和訳辞典』(1876)、および井上哲次郎『訂増英華字典』(1884)として、わが国で校正・訂増されて広く用いられた。
- 3) 『百科全書』明治6年から同19年にかけて文部省編輯局が翻訳刊行した大項目事典で92冊からなる。本書は、維新啓蒙書の集大成ともいべき訳書で、原典は、W. R. Chambers': Information for the People (無年記1860年代末か)。

『明治初期百科全書の研究』福鎌達夫著。風間書房，昭43，p. 54 参照。London) で，フオリオ版2巻からなる。なお，傍証に用いた「経済論」「論理学」は，そのうちの Political Economy (堀越愛国訳，明7年) Logic (塚本周造訳，明11年) である。

- 4) 現存語・廃語の認定—3種類の国語辞典のうち2種類以上に登録されている語を現存語とした。
  - 5) 神奈川大学・高野ゼミナール報告「JALAS」No. 1 (昭54年)。
  - 6) 森岡健二編著『近代語の成立』(昭44年，明治書院) p. 149。
  - 7) 森岡健二論文「漢字の層別」(「上智大学国文学論集」7集・昭48年) p. 50~62。
- ※ 資料の字体は，原則として新字体に改めた。

語彙一覽表

〈I-A <sub>1</sub> -a〉		州	province
辞典にあり典拠の示されている語		術	art
漢籍 現存語		書	book
悪	crime	称ス	said
意	meaning	証ス	show • test
韻	cadence	生ズ	effect • produce
解ス	comprehensible • intelligible • understand	乗	multiplication
害	damage • harm	食	diet
学	science	叙ス	express
関ス	concern • relate • respecting	信ズ	convince
感ズ	impression	真ニ	real
簡ナル	simple	制ス	restrain
記ス	describe	説	effect
機	occasion	切ナル	material
義	meaning	属ス	accompany • belong
期ス	intend	体	mode • style
供ス	furnish • feed • supply	達ス	accomplish • achieve
句	sentence	地	land
具ス	having	智	head
屈セシム	repressive • subject	適ス	fit • suitable
景	scene	鉄	iron
刑	punishment	天	heaven
劇ノ	dramatic	点	point
決ス	determine	徳	virtue
劍	dagger	特ニ	specially
減ズ	subtract	察ス	discern
現ニ	actually	脳	brain
語	word	媒	medium
項	point	発ス	produce • spring
功	success	反ス	violation
抗ス	resist	美	beauty
講ズ	discuss	府	town
在ス	lie	文	sentence
坐ス	sit	篇	book • sentence
詩	poem	変ズ	change
史	history	弁ズ	mention • relate
式	form	妙	excellence
質	part	要ス	essential • require
種	class • variety	類	species
		例	example • instance

列ス	rank	往古ノ	primitive
勞	exertion	応接ス	encounter
論ズ	describe	応対	address
	(1字 漢語79語)	応答	answer
哀切	pathos	凸凹ノ	rough
曖昧ナル	indistinct • obscure	応報	reward
暗焦	dark	温雅ナル	meeek
威嚇	awful	音曲	music
意見	judgment	音声	sound
威嚴	grandeur	音調	sound
異国ノ	foreign	温和	geniality
意思	idea • mind • will	快活ナル	vivid
一時	temporary	外形	outline
一樣ノ	same	外国ノ	foreign
一生	life	剴切ナル	loving
一種	variety	解散ス	scatter
一致ス	agree	解説	explanation
一定ノ	universal	家屋	house
一般ノ	general • popular	回答	response
異同ナル	differ	海浜	beach
慰撫	comfort	外貌	appearance
意味	idea • meaning • sense	開明	civilization
以来	since	壊滅	ruin
異類ノ	unlike	外面	surface
引証	inference	画家	painter
隱微ノ	hidden	化学	chemistry
運行	flow • stream	学識	study • knowledge
運転	motion	學術	science
運動	motion	赫怒	dread
運用ス	bear	学童	school-boy
永遠	eternity	家財	furniture
永久ノ	permanent	川河	river
影響	influence	学科	science
英傑ノ	heroic	学校	school
英断	manfulness	豁達	expansion
閲読	perusal	活潑ナル	exciting
援引ス	adduce	簡易ナル	simple • easy
沿革	history	観察	observation
婉曲	elegance	感情	emotion • mind • sentiment
演劇	performance	完全ナル	sufficiently • complete
淵源	source	感動ス	feel • emotion
演説	oration • speech	感応	emotion • susceptibility

完備ス complete	脅迫 compulsion
灌木 shrub	喬木 tree
玩味ス enjoy	驕慢 insolence
簡明 simplicity	教門ノ religious
簡約ナル simple	教諭 instruction
元来 primarily	倨傲ナル lofty
帰一 uniformity	居住ス live
喜悅 exultation	拒絶 refusal
記憶 memory • remember	許多ノ various
奇怪 bugbear	氣力 strength
機械 machinery	議論 argument
機会 opportunity	緊急ナル necessary
機関 organ	親近 familiar
嬉戲 recreation	近世ノ modern
戲曲 drama	近代ノ recent
危急ナル dangerous	緊要 essential
器具 apparatus	勤勞 exertion
氣候 climate	区域 compass • limits
機巧 machinery • precise	口授ノ verbal
鬼神 mysteriousness	功德 virtue
記事 description	工夫 effort
基礎ノ fundamental	区分 branch • part
規則 principle	區別 distinction
期待 expectation	句法 phraseology
機智 wit	愚民 rabble
貴重ナル valuable	群居ス gregarious
紀伝 biography	軍勢 array
儀典 etiquette	軍率 soldier
危難 disaster	敬愛 affection
模範 example • standard	谿谷 valley
規模 form	契合ス combined
疑問 question	景色 scenery
教育 cultivation	形勢 circumstance
胸臆 mind	啓発 development
教化ス cultivate • discipline	形容 description
狹小 narrowness	激発ス rouse
恭順ナル respectful	結果 effect • end • product
驚歎 admiration	結構 structure
胸中 representation	月光 moonlight
教道(導) doctrine • religion	限界 compass
郷土 squire	研究 acquaintance
挙動 gesture	言語 language • word

言辞	phrase • statement	国家	state
厳粛ナル	dignified	滑稽ナル	ludicrous
言説	exposition	誤謬	mistake
謙遜ノ	humble	鼓舞	invigoration • rouse
見聞	information	固有ナル	peculiar
賢明	wisdom	古来ノ	ancient
権利	right	困苦	distress
権理	pretension	娯楽	interest
言論	judgment	混雑	jumble
権力アル	powerful	昆虫	insect
言話	composition	差異	distinction • interval
故意ノ	voluntary	歲月	days
好意アル	favourable	財産	property
広濶	expand	最大ノ	great
高雅ナル	high	才能	genius • talent
工学	engineering	細密	detail
講義	disquisition	細目	detail
効験	effective	災厄	calamity • mischance
煌々トス	burnish	錯雑ナル	complex
交際	intercourse	錯綜ナル	mixed
考察ス	consider	殺害	killing
構思	idea	発生ス	produce
高尚ナル	elevation • noble	差別ス	discriminate
功績	object	山岳	mountain
交戦	war	惨苦	agony
光沢	light	算術	mathematics
強奪	plunder	賛成	praise
高低	height	散文	prose
高等	class	四囲ス	enclose
行文	expression	渋滞	confusion • delay
巧妙	art	重力	gravitation
荒涼タル	desolate	自衛	defense
合力	co-operation	史家	historian
号令	command	自家	self
公論	profession	自覚	selfconsciousness
呼吸ス	breathe	時間	time
国語	language	指揮	direction
国民	nation • people	時機	occasion
語句	phrase	識見	knowledge
故国	country	事業	device
古城	old-castle	試験	experiment
悟性	consciousness	事件	matter • occurrence

嗜好	liking • taste	趣味	interesting
時候	climate • season	首領	leader
自殺	selfdestruction	種類	kind • variety
史詩	epic	峻險ナル	steep
指示	dictation	順次ニ	successive
詩人	poet	順序	order
事実	matter	至要ナル	principal
時世	age	使用	exercise • employment
自然	natural	詳解ス	particularize
詩体ノ	poetical	情況	circumstance • state
至大	high • greatest • longest	商業	commerce
時代	epoch	小曲	song
視聽	sight or hearing	象形	image
実験	experiment	条件	condition
失敗	failure	情状	condition
質問	interrogation	小説	fiction • novel • romance
実証	evidence • proof	上代ノ	oldest
実用ノ	practice • utilitarian	情緒	emotion
至当ナル	proper	衝突	contest
至難ノ	difficult	小児ノ	infant
思念	mind • thought	証明	exposition • explanation
師表	example	条目	particular
自負	conceit	情欲	passion
詩文	literature	条理	reason
事物	object • thing	擾乱	hurlyburly
事務	business	奨励	encouragement
集会	assembly	職業	business
習慣	habit	植物	vegetable
修辭	rhetoric	職分	professions
従事ス	follow	書籍	book
終日	all the day	庶民	people
醜状	ugliness	私利	interest
衆人	multitude • popular	史料	material
習俗ノ	conventional	事理	principle
愁歎(嘆)	mourning	指令	direction
自由ナル	free	親愛ナル	warm
充分ニ	complete • full • sufficiently	心意	emotion • mind
主義	cause	人為ノ	artificial
種々ノ	various	人員	people
種族	race	深奥ナル	abstruse
手段	means	臣下	subject
主張	assertion	新奇ナル	strange

真偽	truth	精神	heart • soul
人口	population	政治	politician
真正	true	生成	existence
心中	mind	生息	existence
心情	emotion • mind	製造	manufacture
縉紳	gentleman	生存	existence
心神	mind	正当ナル	appropriate • properly
信心	conviction	政府	government
人心	mind	声望	character
人事	life	精密ナル	strict
尋常ノ	ordinary • popular	生命	life
心性	heart • mind	成育ス	make
人生	life	生来ノ	naturally
人世	life	勢力	force • power • strength
親戚	family	世界	world
深淺	depth	世上	life • world
身体	body	世情ノ	popular
人道	humanity	節制	repression
信服	conviction	節奏ノ	musical
人物	character	說法	sermon
進歩	progress • advance	說話	narrative • speech
親睦	association	潺湲	purl
人民	nation • people	前世ノ	ancient
心裏	mind	漸次ニ	gradually
人類	human • man	戰場	field
衰頹	destruction	選択	choice • selection
推知ス	know	善美	fineness
睡眠	sleep	専門	speciality
数字	cipher	善良	soundness
崇敬ス	respectful	相違ナル	different
崇高ナル	grand	創意	creation
図画	picture	操業	business
生活	life	搜索	research
請願	entreaty	裝飾	ornament
聖賢ナル	sage	蒼々タル	blue
精巧ナル	exquisite • skill	想像	imagination
生産	existence	惻隱	tenderness
誓詞	oath	即時ノ	immediate
正式ノ	formal	祖先	father
生殖	procreation	疎密	density
生色アル	picturesque	尊敬	respect
性質	character • disposition	存立	existence

太古ノ	ancient	著書	literature • production
態度	gesture	著名ナル	great
大抵	likely • most	地理	geography
大略	outline	智力	efficiency • intellect
大体ノ	genral	陳述	statement
題目	subject • title	通解	understanding
卓越ノ	prominently	痛哭	woe
卓出	value	通知	communication
卓絶ナル	great	通例	usually
多少	more or less	体裁	array
他人	another-man	適當ナル	adequate
端嚴ニス	dignify	適用スル	apply
歎息	exclamation	徹底ス	completely
淡泊ナル	light	天神	god
断定	conclusion	天性	nature
弾力	elasticity	天地	world
談論	discussion	天道ノ	reasonable
談話	discourse • speaking	天然	nature
地位	position • state	顛(覆)転	tumble
注意	attention • caution	典麗ナル	beautiful
中央	center	登記ス	describe
中心	center	統轄	direction
注目ス	care-for	当然ノ	natural
知覚	consciousness • understanding	東方ノ	eastern
地誌	geography	答問	dialogue
知識	knowledge	同意	concurrence
地上	earth	同一ノ	similar
長句	long-sentence	道学	moral
聴衆	audience	動作	action • gesture
聴者	audience • hearer	同情	sympathy
地図	map	同等ノ	equally
秩序	order	道德	moral
地方	local	動物	animal
着手ス	commence	道理	reason
着色	paint	独言	monologue
着実ナル	steady	德行	virtue
聴従	acquiescence	読者	reader
長短	length	特殊ノ	distinct • particular
眺望	look	独唱	soliloquy
嘲弄	ridicule	怒気	irritation
調和	harmony	得意	taste
著作	production	特表	feature

特別ノ	special	品格	character • feature
土地	territory	品行	character
徒党	party	風光ノ	scenic
都府	town	風俗	manner
奴隸	slave	不易ノ	invariable
内心	inward	不朽ナル	permanent
内情	spirit	服従	follow • obedience
難易	difficulty	不幸	misery
難事	difficulty	符合ス	coincide
日光	sunshine	不審	ambiguity
人間	human • man	婦女	maid
農業	agriculture	物象	object
能弁	eloquence	不定	vagueness
能力	capacity	部分	portion
背後ニ	behind	父母	parent
輩出	appearance	不明	indistinctness
破碎ス	crumble	扶翼ス	support
發揮ス	inflammation	文学	literature
発見ス	invent	文章	composition • style • sentence
発揚	cultivation	粉飾ス	adorn
拔萃	abstraction • extract	文勢	emphasis
範圍	province • scope	分析ス	analyse
繁雜	complex	憤然	indignation
反对	opposition	文体	style • composition
判断	judgment	憤怒	anger • passion
反復	repeat	分離ス	apart • resolve
万般ノ	various	分量	quantity
万物	creation	平原	plain
比較	comparison	平生ノ	daily
卑近ナル	familiar	平淡	calm
悲愁	grief	平素ノ	familiar
俚俗ナル	vulgar	霹靂	thunder
畢竟	effect	変化ス	inflect
必然ノ	necessary	弁解	apology
批評	criticism	偏狭	narrowness
微風	zephyr	篇首ノ	preliminary
比喻	comparison	變転	vicissitude
飛颺ス	wing	包括ス	include
表出	expression	貿易	commerce • trade
表明	representation	冒險	adventure
鄙猥ナル	contemptible • mean	報告	information
品位	character • dignity	豊潤	richness

幫助	assistance • aid	默然 <small>シタル</small>	silent
法則	law	目前ニ	before
瀑布	cataract	文字	letter
方法	process • system	屋外ノ	open-air
飽満 <small>ス</small>	pamper	唯一	single
朋友	friend	憂患	pain
法律	law	遊戯	mirth
方略	device • scheme	有形	concrete
本源	fountain	誘致 <small>ス</small>	attract
本質	true	誘導	derivation
本色	substance	優美	beauty
本土	fatherland	有力 <small>ナル</small>	predominant
本領	property	愉快 <small>ナル</small>	pleasing
満足 <small>ス</small>	content • gratify • inform	容易 <small>ナル</small>	easy
未熟 <small>ナル</small>	uncultivated	容儀	port
妙技	example	妖術	fascinate
未来	future	要約	outline
民間	people	抑制	control
無学 <small>ナル</small>	uneducated	予知 <small>ス</small>	remark
無形ノ	abstract	理会 <small>ス</small>	comprehend
無限	infinity • perpetual	略記	epitome
無言	silence	流動	liquidity
無上ノ	inestimable	漁人	fisherman
無数ノ	innumerable	了知 <small>ス</small>	understood
無知 <small>ナル</small>	untaught	預定 <small>ス</small>	predict
無法 <small>ナル</small>	unmannerly	僚友	friend
明解	exposition	理論	theory
明快	express • illustrate	類似	analogy • likeness
明示 <small>ス</small>	illustrate	類推 <small>ス</small>	define
明晰	clearness • clear	類例	variety
明達ノ	successful	礼法	courtesy
明知	correctness	歴史	history
明白 <small>ナル</small>	distinct • palpable	連合	join
明媚	charm	適合	fitness
迷妄	fascination	連接	association
明瞭 <small>ナル</small>	evident • intelligibly	憐憫	compassion
命令	command • direction	連絡 <small>ス</small>	connect
明朗	clearness	論議	argument
滅却 <small>ス</small>	annihilate	論旨	proposition
滅亡	ruin	論說	doctrine • opinion
猛獸	wild-beast	論理ノ	logical (2字漢語 667語)
模疑	imitation	小説家	novelist

新聞紙 news-paper (3字漢語2語)  
(以上〈I-A<sub>1</sub>-a〉748語)

〈I-A<sub>2</sub>-a〉

辞典にあり典拠の示されている語

和書 現存語

案出ス invent

愛情 love

一層 more

快樂 enjoyment・pleasing

肝要ナル important

岩石 rock

起源 beginning

記載 description

技倆 art

系図 pedigree

広狭 space

誤脱 mistake

砂糖 sugar

作用 act・behavior

自己 self・personal・ourselves

思想 idea・thought

実地ノ practical

実際ノ practical

主意 matter・purpose

住民 inhabitant

首長 leader

出版 printing

真鍮 brass

全体ノ entire・whole

相互ノ mutual

遜謙 compliment

的中 suggestion

到着 arrival

同種 same

難渋 difficult

発明 invention

判者 umpire

反訳ス translate

無骨ナル pompous

普通ノ general・popular

物体 object

部類 class・branch

編年 annals

問題 question

問答 dialogue

了解 understanding

朗々タル clear

論勢 argument

論判 dispute (2字漢語44語)

人情本 novel

料理人 cook (3字漢語2語)

〈以上、国書46語〉

引力 attraction

宇宙 universe

関係 connection

感覚 feeling・sense

記号 symbol

義務 duty

金属 metal

近傍 neighbourhood

芸術 art

劇場ノ theatrical

結合ス combine

健全 health

原因 cause

現象 spectacle

元素 fountain

検束 control

幸福 blessing・welfare

個人 individual

語法 usage

困難ナル distressing

宗教 religion

真理 truth

切実ニ intensely

接統 chain

説明 exposition・statement

占有ス occupy

速力 velocity

組織 composition・tissue

粗野ナル coarse

妥当 keeping

単純ナル pure・simple

地球 earth・globe  
 抵抗 resistance  
 敵視 hostility  
 適度ナル moderate・proper  
 電気 electricity  
 統計 statistics  
 洞察 insight  
 認識ス known  
 熱心 eagerness  
 銘記ス hold  
 目的 end・object・purpose  
 理由 cause・ground  
 論題 subject (2字漢語 44語)  
 統計表 statistics (3字漢語 1語)  
 〈以上, 蘭学書 45語〉  
 (以上 〈I-A<sub>2</sub>-a〉 91語)

〈II-A-a〉

辞典にあり典拠の示されていない語

現存語

偉大ナル great  
 改進 progress  
 概念 notion  
 解明ス explain・survey  
 科学 science  
 确实ナル confirm  
 合致 uniformity  
 活力 activity・vitality  
 観客 audience  
 管制ス keep  
 简单 brevity  
 議会 assembly  
 喜戯 comic  
 奇警 epigram  
 貴人 nobility  
 基準 order  
 記者 writer  
 夾雑ナル mixed  
 教師 teacher  
 共存 coexistence  
 共通ノ common・same  
 極度 utmost

僅少 little  
 激動 impulse  
 現今 present  
 現状 case  
 行為 conduct  
 鉱業 mining  
 公認ス recognize  
 鉱物 metal  
 抗弁 reaction  
 高揚 soar  
 考慮ナキ reckless  
 語音 sound  
 採鉱 mining  
 些少ノ slight  
 参照 reference  
 惨状 spectacle  
 視覚 vision  
 時季 season  
 志向 knowledge  
 実況 circumstance  
 実施ス carry-out  
 社会 association・community・society  
 周航ス circumnavigate  
 周到ナル accomplished  
 重要ナル grave  
 主旨 object  
 主題 matter  
 純然 purity  
 照合 keeping  
 上進 progress  
 証憑 demonstration・proof  
 小別ス divide  
 序言 prologue  
 初級 first  
 進化 progress  
 人種 family  
 数学 mathematics  
 全域ノ comprehensive  
 想起ス recollect  
 荘重ナル grand  
 曹達 soda

体格 style  
 対称 object  
 態勢 attitude  
 対比 contrast  
 題旨 subject  
 単語 word  
 地層 stratum  
 中葉 middle  
 着目ス notice  
 通観ス survey  
 通常ノ common・plain  
 通弊ノ habitual  
 定義 definition  
 提示ス bring  
 定着ス determine  
 適宜ニ moderately  
 適正ナル suitable  
 適切ナル faithfully  
 天空 sky  
 党首 leader  
 特権 prerogative  
 内部 interior  
 反抗ス hostile  
 判然タル visible  
 半島 peninsula  
 美術 art  
 表面 surface  
 物質 substance  
 付帯 subordination  
 浮標 buoy  
 本則 principle  
 脈道 ridge  
 名辞 term  
 溶解ス dissolve  
 要点 importance  
 理学 physics  
 領承 acknowledgment  
 恋愛 affection  
 話法 speech (2字漢語, 102語)  
 凝聚力 cohesion  
 地質学 geology  
 性理学 physiology

楕円形ノ elliptic  
 地理学 geography  
 天文学 astronomy  
 博物学 natural-philosophy・natural-history  
 不确实 uncertainty  
 無免許ノ unlicensed  
 預言者 prophet  
 旅行者 traveller  
 論理学 logic  
 学術上ノ scientific (3字漢語 13語)  
 (以上 <II-A-a> 115語)

<I-A<sub>1</sub>-b>

辞典にあり典拠の示されている語

漢籍 廢語  
 哀情 pathos  
 愛念 affection  
 畏懼ナル awful  
 意旨 thought  
 医治 healing  
 意念 idea  
 彙類 classification  
 有礼ナル polite  
 運漕 conveyance  
 英豪ナル heroic  
 憶想 sentiments  
 恩意 favor  
 怨恨 resentment  
 海塩 sea-salt  
 開進 advance  
 戒懼 fear  
 戒敕ナル prudent  
 海波 ocean  
 諧和ナル melodious  
 学得 acquirement  
 濶大ナル wide  
 華文 literary-art・polite-literature  
 轣軻ス imprison  
 関渉 bearing  
 參養 training  
 含蔵ス contain

含包ス	imply	志念	determination
戲謔	humour	至微ナル	impalpable • small
戲語	pun	時風	fashion
譏刺	wit	術芸ノ	scientific
期望	hope	殊別ノ	special
企望ノ	desirable	順環	revolution
機務	function	純善	good
求望	entreaty	峻拔	forcible • vigour
嬌艶	beautiful	勝絶ナル	surpassing
脇迫	compulsion	訟庭	bar
戲弄	humor	聳動	thrill
謹密ナル	strict	詳明	detail • exposition
溪壑	valley	嗜欲	appetite
景状	circumstance • form	心胸	mind
啓迪	persuasion	心思	will
激昂	animation	深旨ノ	deep
激波	surge	親熟ナル	familiar
譎詐	false	真成ナル	true
謙恭ナル	respectful	親接ニ	intimately
憊々タル	tender	心内ノ	inward
權術	device	心目	image
嚴制ナル	strict	真樂	happiness
顯白ナル	sharp	振励	impulse
甄別ス	separate	推衍ス	derive
更革ス	change	精当ナル	rigorous
興起ス	induce	正路ナル	right
高丘	height	切情	compassion
行吟ス	recite	説服	persuasion
光輝アル	lustrous	善法	device
興事	interest	善徳	virtue
高上	hoist	賤劣ナル	mean
恍然	charm	争軋	struggle
行歩	walking	層構	cumulation
克勝	triumph	相合	combination
刻鏤ス	emboss	草賊	bandit
細条	detail • particular	相比	compare
罪戾	crime	対言	address
作手	author • writer	短句	short-sentence
砂石	pebble	噉食ス	eat
至細ナル	subtle	坦平ナル	smooth
至小ノ	little	重望	respect
実事ノ	real	陳説	statement

陳明ス advert  
 痛楚 pressure  
 痛念ナル painful  
 詆毀 abuse  
 呈露ス suggest  
 跌宕 sublimity  
 天童 angel  
 天稟 genius・talent  
 踊舞 dance  
 同異 difference  
 得計 plot  
 排置 arrangement  
 発興 interest  
 反顧 repeat  
 万種ノ varied  
 比耦 parallel  
 稟賦 instinct  
 撫慰 consolation・soothingly  
 福祥 happiness  
 府中 city  
 物形 object  
 富麗 beauty  
 壁壘 bulwark  
 奉承ス deign  
 法方 mode・plan  
 補益ノ auxiliary  
 本条 detail  
 秘奥 mystery  
 無疆ノ infinitely  
 明開 clearness  
 明曉ス expain  
 明著ナル well-known  
 明亮ナル distinctly・explicit  
 約説ス sum  
 優厚 tenderness  
 雄壯 vigorous  
 妖幻 charm  
 抑鬱 oppression  
 礼讓 courtesy  
 楽事 interest  
 力勢 weight  
 了得ス knowledge・grasp・under-

stand

礼則 politeness  
 礼度ナル refined  
 歴進 development  
 連々 series  
 論叙ス treat  
 和諧セル melodious  
 (以上〈I-A<sub>1</sub>-b〉158語)

〈I-A<sub>2</sub>-b〉

辞典にあり典拠の示されている語

和書 廢語  
 画彩 picture  
 活業 living  
 記文 description  
 好悪 liking  
 最勝ノ fine  
 最要ナル principal  
 至切ナル strong  
 相依 dependence  
 相通ノ common  
 偏僻ナル sectarian  
 放開ス open  
 野様ナル mean  
 歴見ス reproduce (以上, 国書13語)  
 拡充ス extend  
 湊合 combination (以上, 蘭学書2語)  
 (以上〈I-A<sub>2</sub>-b〉15語)

〈II-A-b〉

辞典にあり典拠の示されていない語

廢語  
 彙別 classification  
 解得ス comprehend・master  
 換語 metonymy  
 教規 subject  
 供用ス adapt  
 訓状 rule  
 健旺ナル healthy  
 原基 basis  
 言句 phrase  
 言述ス allude

顕象 phenomenon  
 権分 claim  
 考思 idea・thought  
 高聳 loftiness  
 至多ナル considerable  
 市府 town  
 写出ス express  
 重学 mechanic  
 種属 kind  
 主点 point  
 奨勸ス encourage  
 奨誘ス induce  
 叙記 description  
 進運ス facilitate  
 心経ノ mental  
 仁恤 tenderness  
 信認 belief  
 推度ス perceive  
 全局ノ all・entire  
 撰取ス choose  
 專注 solicitude  
 壯旺ナル generous  
 相同ナル same  
 粗魯ノ vulgar  
 对者 fellow  
 多衆 multitude  
 注念 perception  
 賜恵 boon  
 逐次ノ gradual  
 敵抗 hostility  
 點示 suggestion  
 伝話 narration  
 汎広 largeness  
 分枝 branch  
 騙欺 delusion  
 補賛ス serve  
 野俗ナル rustic  
 憐恤 sorrow (2字漢語 48語)  
 演説家 speaker  
 格物学 physics  
 滑稽劇 comedy  
 修身学 moral

人名録 directory  
 立方形 cube (3字漢語 6語)  
 (以上 <II-A-b> 54語)

<II-B-b>

辞典に登録されていない語

廢語  
 惟質 temper  
 淹留ス wait  
 外周 outline  
 楽詩 lyric-poetry  
 革化 change  
 感学 emotion  
 完明ナル complete  
 規条 regulation  
 驚畏 fear  
 興快 interest  
 驚絶 surprise  
 苦状 agony  
 句節 clause  
 群中 herd  
 形出ス embody  
 堅岩 rock  
 件項 term  
 玄幽 faintness  
 巧異 skill  
 呼嘯 ejaculation  
 剛壯 courage  
 降沈 composure  
 誤了 mistake  
 細況ノ detailed  
 至広ナル boundless  
 自述 autobiography  
 実着ナル cool  
 至繁 complicacy  
 写得ス picture  
 至優ナル lofty  
 主説 cause  
 述伝 narrative  
 象喩 metaphor  
 庶衆 people  
 叙文 narration

新情	freshness	教道論	doctrine
推達	attainment	極小数ノ	infinitesimal
粹智	intellect	虚形物	abstraction
崇福	welfare	行旅家	traveller
聖詩	psalm	行旅記	travels
洩露	revelation	公論家	orator
洗新	freshness	公論者	orator
詮説ス	view	詞訟師	pleader
相俱	together	口論術	oratory
壯弘ノ	wide	詞訟者	pleader
相類ノ	analogous	実形的	concrete
壯勵	boldness	修辭家	rhetorician
踈曠ナル	remote	信仰者	follower
調看	knowledge	説教者	preacher
定脚ス	stand	談論者	orator • speaker
的正	correctness	地名録	gazetteer
電雷	thunder	着目者	observer
品調	quality	反抗力	repulsion
分割ス	decompose	悲哀戲	tragedy
偏傾	bias	弁説術	oratory
豊充	fertility • rich	無形物	abstraction (3字漢語 27語)
方般ノ	universal	依信崇仰	belief
保助ス	conducive	感情樂感	joy
発象	phenomenon	議院法令	Parliament-Act
無朽ノ	endless	極微分子	atom
誘迪	direction	輕慢驕傲ス	disparage
愉適ナ	mirthful	轟雷擊電	stroke
輿衆	citizen	指極性質	polarity
与出ス	suggestive	至性至情	tender-susceptibility
了取ス	conceive	枝葉細目	branches
類属	class	整理合成ス	systematize
歴験ス	experience	遜謙恭敬	deference
漉布	canvas	秩然整齐ナル	orderly
論術	oration	智德粹秀ナル	intellectual
和整	harmony (2字漢語 70語)	定時発兌	periodical
一定法	uniformity	同音反復	alliteration
演説術	oratory	無形概念	abstraction
往古人	ancient	愉憚歎欣ナル	pleasing
快樂戲	comedy	雄壯快活ナル	energetic (4字漢語 18語)
奇警体ノ	epigrammatic		(以上 <II-B-b> 115語)
帰正語	paradox		